

ほとんどの患者さんがモニターを見ながら受診



佐野医師会病院

〒327-0832 栃木県佐野市植上町1677番地 TEL.0283-22-5358 FAX.0283-21-8978
URL <http://www.sanoishikai.or.jp>

佐野医師会病院は、医師会によって設立され、運営されている。設立は昭和36年。それ以来、3度の増改築を行い、高度医療機器を採用するなど、地域の医療になくはない存在となっている。「当病院は、開放型の病院として承認を受けています。病院のベッドや設備を開放し、医師会会員の開業医の先生方に利用していただいています。ふだんのかかりつけ医の先生が診察することもできますし、当病院の医師が診察することもできます」というのは、院長の難波美津雄医師。

現在では開放型病院はそれほど珍しいものではなくなったが、当時としてはとても先駆的な試みだったという。佐野医師会病院は、全国でも早く、昭和53年に施設の開放を始めている。かかりつけ医の支援のほかにも、地域の中核病院としての役割を担うべく、病院には休日夜間緊急診療所、訪問介護ステーション、在宅介護支援センターが併設されている。

経鼻内視鏡は2006年3月に採用している。採用の前年末に、職員の健康診断にデモ機を使用したところ、苦痛が少ないと評判だったことが採用に踏み切るきっかけになったという。


「患者さんも、経口内視鏡のときと比べて非常に楽になったといってくれます。ごくまれに、100人に数人くらいですが、経口内視鏡と変わらないという患者さんもいます。ただし、検査を行う医師の目で見ると、経鼻内視鏡のほうがほぼ100%楽なように思います」

難波院長は、検査が楽なことは医師にとってもメリットであるという。

「検査時は、胃の中に空気を入れて、少しふくらませた状態で検査を行います。経口内視鏡の場合、むせてしまつて空気が出てしまうこともあり

INFORMATION

- 診療科目
内科、外科、放射線科（外来は、医師会員の先生から紹介された患者さんのみ診療。一般外来は行っていません）
- 診療受付時間
9:00～12:00
- 休診日
土曜日、日曜日、祝日
- 人間ドック
「一泊ドック」「1日コース」「脳ドック」の各種コースあり。問い合わせは0283-22-5358まで。



院長 難波美津雄

消化器系のがんは日本人に多い病気である。経鼻内視鏡の役割は、これからますます大きくなるだろう。

「話しながら検査を受けることによって気が紛れ、時間が短く感じられます。経口内視鏡を使用しているときは、苦しくてモニターをまったく見られない患者さんも少なくありませんでしたが、経鼻内視鏡ではほとんどのの方がモニターを見ながら検査を受けています」

難波院長は、年に一度は必ず内視鏡による胃の検査を受けてほしい、という。

「経鼻内視鏡の検査は経口内視鏡に比べて格段に楽になっていますから、早期がんの発見に役立ちます。早期の小さながんなら、開腹手術をすることなく治療することができます」